第6回研究科セミナー

テーマ

「人文学と情報学の新たな連携　デジタルヒューマニティーズ」

A New Collaboration between the Humanities and Informatics: Digital Humanities

講演者：　人間文化研究機構　国立歴史民俗博物館

National Institutes for the Humanities National Museum of Japanese History

准教授　後藤　真　氏

Associate Professor, Makoto Goto

日　　時：　令和7年7月1日（火）15:30～17:00

場　　所：　情報科学研究棟3棟5階　コラボレーションルーム7

講演要旨：

人文学の課題に情報学を応用する学際的分野をデジタルヒューマニティーズ（DH）と呼ぶ。DH は、2010 年代から人文学の新たなブレークスルーをもたらしうる手法として、注目を浴びるようになっていたが、日本の大学においては「総合知」がクローズアップされることで、さらなる期待が持たれるようになった。さらに、近年では、いわゆるテキスト生成 AI の力が大きくなったことで、人文学が進めてきた高度な解析において、コンピュータが協業できる可能性が増えてきたことのみならず、人文知のような複雑かつ人の文化や倫理に関わる知がデータ基盤に貢献しうる可能性も生まれつつある。本講演では、DH の概要を示しつつ、特に日本歴史に関わる資料を題材に AI をはじめとするコンピュータ利活用の事例・課題・未来について述べ、人文学と情報学の今後の可能性を模索するものである。

講演者略歴：

大阪市立大学大学院　文学研究科　後期博士課程修了　博士（文学）
人間文化研究機構　本部特任助教を経て現職
併任として、人間文化研究機構　機構長戦略室　特命准教授（2023 年 5 月～）および総合研究大学院大学　先端学術院　准教授（2023 年 4 月～）
日本学術会議　連携会員（2023 年 10 月～）
文部科学省・学術分科会・人文学社会科学特別委員会　専門委員

お問合わせ先：
教授　上原　隆平（E-mail：uehara@jaist.ac.jp）